

極秘

五拾部ノ内第10號

支那事變ニ於ケル政策關係重要決定事項（其一）

昭和十四年五月十五日  
興亞院

0012

川本P氏

目次

一 支那事變對處要綱：……………一

二 事變對處要綱（甲）：……………五

三 支那事變處理根本方針：……………一七

四 北支政務指導要綱：……………二三

五 蒙疆處理要綱：……………二六

六 蒙疆政務處理要綱：……………二九

七 蒙疆政務指導要綱：……………三一

八 北支及中支政權關係調整要領：……………三二

九 蒙疆聯合委員會設立ニ際シ蒙疆聯合委員會  
ト關東軍司令官トノ秘密交換公文……………三三

十 駐蒙兵團設置ニ際シ關東軍司令官ト蒙疆聯  
合委員會トノ交換公文……………三七

十一 蒙古軍ノ統帥ニ關スル駐蒙兵團ト蒙古聯盟  
自治政府トノ交換公文……………四一

十二 日華經濟協議會設置ニ關スル覺書……………四四

十三 交通通信及航空等ニ關スル覺書……………五〇

十四 帝國政府聲明……………五一

0013

一、支那事變對處要綱

一、本對處要綱ハ十月一日總理、外、陸、海四大臣間ニ決定セラレ、同日總理大臣之ヲ内奏セルモノトス

二、本對處要綱ハ支那中央政府カ政府トシテノ機能ヲ備ヘ我ニ和平ヲ提言スル場合ノモノヲ示シ、然ラサル場合ノ對處要綱ハ別途ニ定メラルヘキモノトス

支那事變對處要綱

總則

一、一般方針

今次事變ハ、軍事行動ノ成果ト、外交措置ノ機宜ト、兩々相俟チ、成ルヘク速ニ、之ヲ終結セシメ、支那ヲシテ抗日政策及容共政策ヲ解消セシメ、眞ニ明澄且ツ恒久的ナル國交ヲ、日支間ニ樹立シ、以テ、日滿支ノ融和共榮ノ實現ヲ期スルヲ、本旨トス  
情勢ニ依リ、長期兵力行使ニ堪ユル爲メ、之ニ關スル所要ノ處置ヲ講ス。

二、軍事行動

軍事行動ハ、支那ヲシテ速ニ戰意ヲ拋棄セシムルヲ目途トシ、兵力ノ行使、要地ノ占據、及之ニ伴フ必要ナル諸工作等、適時適切ナル手段ヲ執ルモノトス。

三、外交措置

外交措置ハ、速ニ支那ノ反省ヲ促シ、我方ノ所期スル境地ニ、支那ヲ誘致スルヲ目途トシ、支那及第三國ニ對シ、機宜ノ折衝及工作ヲナス。事變ノ終結ニ方リテハ、支那ヲシテ、抗日政策及容共政策ヲ解消セシメ、從來ノ行懸ニ捉ハレサル、劃期的國交調整條件ヲ以テ、外交交渉ヲ行フ。

四、軍事、外交、及之ニ伴フ諸施策ハ、國際法上許サルヘキ範圍ヲ逸脱セサル様、慎重實行ス。

準 則

一、兵力行使

- (1) 陸上兵力行使ノ主要地域ハ、概ネ冀察及上海方面トス。
- (2) 所要地域ニ對シ、海上竝ニ航空作戰ヲ行フ。

二、國家總力ノ整備

作戰ノ遂行ヲ圓滑ナラシムルト共ニ、國際情勢ノ最惡化スル場合ニ應スル爲、總動員ノ實施、戰時法令ノ制定、耐久ノ舉國一致ノ具現等、所要ニ應シ、國家諸般ノ運營ヲ之ニ適合セシム。

三、北支對策

北支問題ノ解決ハ、日滿支三國ノ共存共榮ヲ實現スルヲ目途トシ、支那中央政府ノ下ニ、眞ニ北支ヲ明朗ナラシムルヲ以テ本旨トス。

四、中南支對策

中南支ハ、日支通商貿易ノ増進及發展ノ永續ニ適スル情態ヲ、此處ニ出現セシムルコトヲ期ス。

五、北支作戰後方地域ニ對スル措置

事變中、北支作戰後方地域ニ對スル措置ハ、敵國領土占領ノ觀念ヨリ脱却シ、概ネ左ノ如ク律ス。

(一) 占領地行政ハ之ヲ行ハス。但治安ハ、軍ノ指導ニヨリ、之ヲ確立ス。

(二) 政治機關ハ、現地住民ノ自主的組成ニ委ス。但之ヲ指導シ、明朗ナル施政ヲナサシム。

(三)軍事上必要ナル交通施設及資源ノ開發ハ、必要ナル統制下ニ之ヲ行フ。

但以上(一)及(二)ハ、和局出現後ノ國交調整ニ、影響セシムルコトナシ。

#### 六對外通商並經濟財政關係

日支及第三國間ノ、通商並經濟財政事項ニ關シテハ、支那ヲシテ、戰意ヲ拋棄セシムルヲ主眼トシ、之ヲ律ス。

#### 七對第三國關係

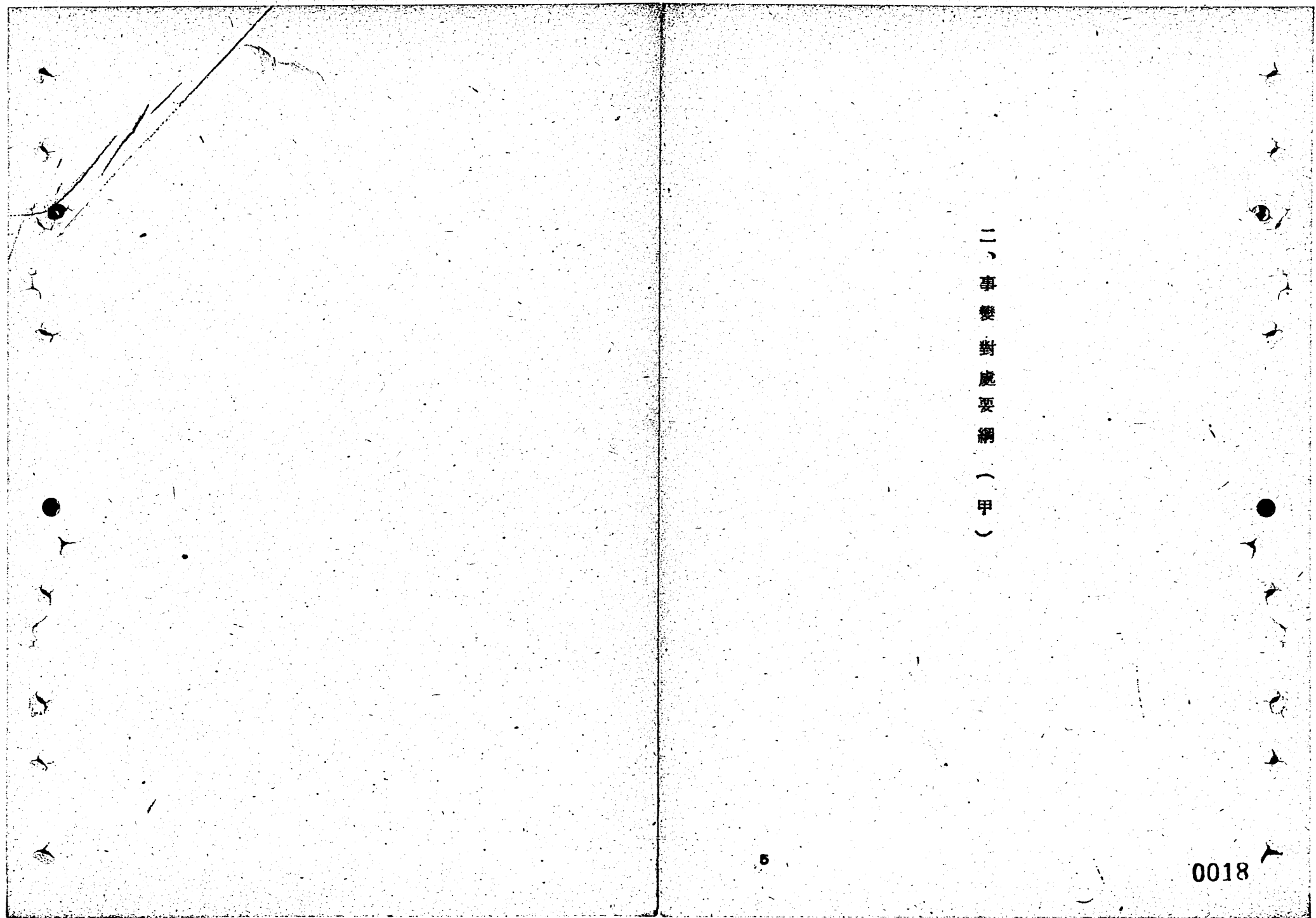
第三國ニ對スル、外交措置並ニ之ニ伴フ諸工作ハ、進テ我ニ好意ヲ持タシムルト共ニ、第三國トノ紛争ヲ醸シ、又ハ其ノ干涉ヲ誘發スルコトナキ様、之ヲ施策ス。軍事行動及之ニ伴フ諸工作モ亦、右ノ

主旨ニ副フ様慎重施行ス。

#### 八居留民ニ對スル處置

居留民ニ對シテハ、救恤ヲ行フ。

九前記諸項ノ具体的方策ハ、別ニ之ヲ定ム。



二、事變對處要綱（甲）

0018

REEL No. A-0217

0017

アジア歴史資料センター

事變對處要綱(甲)

昭和一二・一三・一四  
閣議決定

事變勃發以來帝國政府ハ南京政府ニ於テ速ニ其ノ抗日容共政策ヲ棄テ  
帝國ト提携シテ東亞ノ安定ニ寄與センコトヲ切望シ居ルヲ以テ同政府  
ニ於テ反省スルニ於テハ之ト共ニ時局ノ收拾ヲ計ルヘキモ、同政府ニ  
シテ猶長期ノ抵抗ヲ標榜シ毫モ反省ノ色ヲ示ササル場合ニ對處スル爲  
ト他方我軍行動ノ進展ニ伴ヒ帝國ノ占據區域廣汎トナリ至急之カ處  
理ヲ行フノ要アルニ至レルトニ鑑ミ今後ハ必スシモ南京政府トノ交渉  
成立ヲ期待ヤス之ト別個ニ時局ノ收拾ヲ計リツツ事態ノ進展ニ備ヘ軍  
事行動ト相俟チ南京政府ノ長期抵抗ニ對應スル爲北支及中支方面ニ於  
テハ左記方針ニ依リ措置スルコトトス

右趣旨ハ適當ノ機會ニ之ヲ中外ニ闡明ス

0013



一、北支處理方針

北支ニ於テハ支那民衆ノ安寧福利ノ増進ヲ以テ政策ノ主眼トシ政治的ニハ防共親日滿政權ノ成立、經濟的ニハ日滿支不可分關係ノ設定ヲ目途トシ之カ促進ヲ計リ漸次本政權ヲ擴大強化シ更生新支那ノ中心勢力タラシムル如ク指導ス

然レトモ中央政府トノ交渉成立ノ場合ハ右新政權ハ和平條件ニ從ヒ之ヲ調整スルモノトス

甲、政治指導方針

(一) 北支新政權ハ單ニ北支ノミナラス中南支方面ノ信望ヲ收メ得ルカ如キモノタラシムルコト肝要ニシテ之カ爲ニハ(イ)右政權ノ首腦者ヲ

ハ支那全國ニ信望ヲ有スル人材ヲ網羅スルコト(ロ)右政權ハ新時代ニ適應スル組織ヲ備ヘ(ハ)全支ニ呼掛ケ得ルカ如キ主義綱領ヲ持シ(ニ)右政權ニ對スル我方ノ指導ハ大綱ニ關スル邦人顧問ノ内面指導ニ止メ日系官吏等ヲ配シ行政ノ細部ニ互ル指導干涉ヲ行ハサルコトヲ方針トシテ指導スルモノトス

(二) 北支新政權ニ包含セラルヘキ地域ハ軍事行動進展ノ程度ニ依ルヘキモ略河北、山東、山西ノ三省及察哈爾省ノ一部トス冀東自治政府ハ之ヲ解消シ新政權ニ合流セシム尙察南及晋北兩自治政府ハ時期ヲ見テ右新政權ニ合流セシムルモノトス  
又蒙古自治政權トハ密接ナル聯絡ヲ保持セシム

(目) 差當り第三國トノ紛糾ヲ避クル爲租界ニハ手ヲ觸レサルコトトス  
 ヘキモ租界外ニ於テハ新政權樹立以前ト雖モ郵政、電政、稅制、  
 路政等ノ行政組織ヲ完備セシムル如ク指導スルモノトス  
 海關ニ付テハ別ニ考慮ス

乙、經濟開發方針

(一) 北支經濟開發ノ目標ハ日滿經濟ノ綜合的關係ヲ補強シ以テ日滿支  
 提携共榮實現ノ基礎ヲ確立スルニ在リ  
 之カ爲支那現地資本竝我方ノ資本及技術ヲ緊密ニ結合セシメテ經  
 濟各部門ヲ開發整備シ以テ秩序ノ維持民衆生活ノ安定ヲ圖リ併セ  
 テ日滿兩國ニ互ル我廣義國防生産力ノ擴充ニ資スルモノトス

而シテ開發實施ニ際シテハ日滿及北支ノ國際收支ノ適合及物資需  
 給ノ調節ヲ尊重シ緩急ヲ誤ラサル様措置スルト共ニ努メテ支那側  
 ヲ表面ニ立テ經濟的壓迫ヲ與フルカ頗キ感ヲ抱カシメサル如クシ  
 且我全國民ノ期待ニ反セサル適切ナル國策的運営ニ重點ヲ置クモ  
 ノトス

(二) 北支經濟開發及統制ノ爲一國策會社ヲ設立スルモノトシ舉國一致  
 ノ精神ト全國產業動員ノ趣旨ヲ具現スルカ如ク之ヲ組織スルモノ  
 トス  
 主要交通運輸事業（港灣及道路ヲ含ム）、主要通信事業、主要發  
 送電事業、主要鑛產事業、鹽業及鹽利用工業等ニ關スル重要産業

ハ右會社ヲシテ之ヲ開發經營又ハ調整ニ當ラシムルモノトス  
右會社ノ運營ニ就テハ日滿兩國ノ重要産業計畫ニ即應  
常ニ我國ノ實情ニ鑑ミ緩急宜シキヲ制スル事ニ意ヲ用フヘキモノ  
トス

右重要産業以外ノ事業ハ特別ノ事由アル場合ノ外特別ナル統制ヲ  
加ヘサルモノトス

(三) 北支經濟開發ニ當リテハ支那側資本ノ利用ニ努ムルヲ共ニ支那側  
企業トノ協議ヲ圖ルモノトス

(四) 北支經濟開發ニ對スル第三國ノ協調的投資ハ之ヲ認ムルモノトス  
北支ニ於ケル列國ノ既存經濟權益ハ事情ノ許ス限り之ヲ尊重スル

モノトス

(五) 日滿北支貿易關係ノ緊密化ヲ圖ルヲ共ニ北支對第三國貿易ノ適切  
ナル調整ヲ行フモノトス

(六) 現地政權ヲシテ農業ノ改善、治水及利水、植林、合作社等ニ關シ  
逐次所要ノ施設ヲ爲サシムルモノトス

(七) 北支ニ於ケル既存事業ニシテ重要産業ニ關スルモノハ本方針ニ從  
ヒ之ヲ整理又ハ調整スルモノトス

(八) 差當リ直チニ着手シ得ル事業ニ付テハ將來本方針ニ基ク整理又ハ  
調整ヲ條件トシテ速ニ之ヲ開始スル様措置スルモノトス

(九) 北支經濟開發ニ關スル交渉ノ相手方ハ差當リ中華民國臨時政府治  
安維持會若クハ其ノ聯合會又ハ局地政權トス

ニ上海方面處理方針

- (一) 軍ノ占據區域ニハ機ノ熟スルヲ俟チ北支新政權ト聯絡アル新政權ノ樹立ヲ考慮スルモ當分ノ間治安維持會及必要ニ應シ其ノ聯合會ヲ組織シテ治安ノ維持ニ當ラシム
- (二) 租界及租界周邊ニ對スル方策ハ別ニ之ヲ定ム

租界周邊處理方針

甲、行政

租界周邊ニ就テハ將來ニ於ケル租界周邊ノ發展ニ協力シ且ツ租界ノ安全保障組織ノ確立ヲモ考慮シ左記要領ニ依リ之ヲ處理ス

(一) 租界ノ周邊即チ租界及越界道路ヲ除ク大上海市管轄區域ヲ特別市トス

(二) 特別市ノ行政ハ支那人市長之ヲ管掌ス

但シ特別市ニハ市長ヲ輔佐シテ一般行政ヲ指導セシムヘキ日本人顧問ヲ置ク

顧問ノ權限ハ別ニ之ヲ定ム

(三) 特別市ノ警察行政ヲ行フ爲特別警察部ヲ設置ス 警察部長以下凡ソ

長タル者ハ支那人トスルモ、長ト協力スル爲相當數ノ邦人顧問ノ權限ハ別ニ之ヲ定ム

尙必要ニ應シ外國人顧問ノ採用ヲモ考慮ス

支那人警察官ノ數及武裝ハ別ニ之ヲ定ム

特別市内ノ日本人ニ對スル警察權ハ總領事館警察ノ管轄トス

(四) 特別市ノ財政ハ舊上海市ニ於テ徵收ノ諸稅ノ外特別市範圍内ニ於ケル稅制、電政、郵政等舊南京政府直轄各機關ノ接收又ハ新設ニ依リ得ラルヘキ諸收入ヲ以テ之ヲ維持ス

(五) 將來(中支新政權樹立ノ場合ヲ豫想ス)特別市全部ヲ開港市トシ外國人ノ居住營業竝ニ土地ノ所有權若ハ永租權ヲ認メシム

(差當リハ邦人土地ニ關スル懸案解決ヲ期ス)

乙、帝國ノ經濟的權益設定策

上海ヲ據點トシ中支方面ニ對スル帝國ノ經濟的發展ノ基礎ヲ確立スルヲ目標トシ其ノ具體的方策ノ一トシテ左ノ通り措置スルモノトス

(一)租界ノ周邊(租界及越界道路ヲ除ク大上海市管轄區域)ヲ特別市トシ右特別市内ニ於ケル電話、電力、電燈、水道、瓦斯、電車、バス等公共的性質ヲ有スル諸事業ノ實權ヲ我方ニ把握シ之ヲ經營スルト共ニ下記各項ニ關聯スル事業ノ經營又ハ調整ニ當ラシムル爲國策會社ヲ設立ス

右國策會社ノ規模及事業着手ノ順序等ニ就テハ我國ノ實情及現地情勢ヲ參酌シ別ニ之ヲ定ムルモノトス

右國策會社ノ資本ニ付テハ其ノ目的上支障ナキ限り現地資本ノ利

用ヲ圖ルモノトス

尙特別市及租界内邦人中小企業家ニ對スル資金融通及邦人ノ租界内不動産取得ニ對スル資金融通等ニ付テハ可及的速ニ別途考慮スルモノトス

(二)特別市内ニ於ケル舊支那側官有ノ機關及土地建物等ハ全部我方ニ於テ接收シ適宜利用スルモノトス但シ特別市當局ニ於テ行政上必要アルモノハ之ヲ使用セシム

(三)上海附近ト本邦各地北支、滿洲國間等トノ通信運輸航空ノ聯絡基地トシテ、出來得ル限り特別市地域ヲ利用スルモノトシ差當リ左ノ各項ヲ實施スルモノトス

(イ)適當ナル汽船會社等ヲシテ虬江碼頭招商局碼頭等ヲ利用セシム

(ロ) 將來上海方面ニ於ケル有線無線（放送ヲ含ム）通信權ノ實質的獲得ニ必要ナル諸施設ヲ管理運用ス

(ハ) 上海福岡連絡飛行基地トシテ龍華飛行場ヲ管理運用ス尙虹橋及遠東飛行場ノ管理權ヲ獲得シ將來日支航空連絡ニ對スル實質的權益ノ設定ニ資ス

(四) 特別市地域ニ大市場ヲ建設シ租界ニ對スル魚類、肉類、野菜等ノ生活必需品ノ供給ヲ爲サシムモノトス（差當リ上海市魚市場等ノ利用ヲ考慮シ尙小型船舶ノ自由出入港ヲ認メシム）

(五) 差當リ直ニ着手シ得ル事業ニ付テハ國策會社成立ノ際適宜整理又ハ調整スルヲ條件トシテ速ニ之ヲ開始スル様措置スルモノトス  
内本經濟的權益設定ニ關スル交渉ノ相手方ハ差當リ治安維持會又ハ

局地政權トス

北支處理方針乙、經濟開發方針ニ對スル  
閣議諒解事項(一)

- 一、主要交通運輸事業、主要通信事業ニ付テハ滿支ヲ通スル一會社ノ一元經營ハ之ヲ認メサルコト
- 二、北支政權ノ財政強化ニ努メ以テ北支ニ於ケル公共事業其他ノ開發諸事業ニ寄與セシムルコト
- 三、北支對第三國國際收支ノ維持改善ヲ圖ル爲有效適切ナル方策ヲ講スルコト
- 四、北支ニ於ケル產金事業ハ我國國際收支ノ觀點ヨリ特ニ速カニ着手セシムルコトトシ今後ニ於ケル調整ニ際シテモ此ノ事情ヲ考慮スルコト
- 五、北支ニ於ケル經濟開發殊ニ鑛工業開發ノ計畫ヲ樹ツルニ當リテハ内地産業ノ實情ニ考慮ヲ拂ヒ且該地ノ許ス限リ内地ニ於ケル當該企業ノ技術、經驗及資本ヲ利用スル様措置スルコト

0027



同方針ニ對スル閣議諒解事項(二)

日滿支ノ交通、通信ノ圓滑ナル連絡ニ資スル爲北支ニ於ケル交通、通信事業ヲ經營スル機關ハ滿鐵並滿洲電々會社ト常ニ緊密ナル關係ヲ保持セシムル様措置シ尙滿鐵並電々社員ノ大陸ニ於ケル活動ノ適性並今次事變ニ於ケル活動ノ實狀ニ鑑ミ交通、通信事業ノ經營ニ際シテハ之等ノ人員技術經驗等ヲ充分活用スルノ方針ヲ執ルコト

上海周邊處理方針乙、帝國ノ經濟的權益設定策ニ  
對スル閣議諒解事項

右國策會社ニ對シ特別市ニ於ケル軍ノ管理スル土地其他我方ノ管理下  
ニアル土地ニ關スル經營等ノ諸事業ヲモ必要ニ應シ之ヲ行ハシムルコ  
トヲ得

三、支那事變處理根本方針

昭和十三年一月十一日 御前會議ニ於テ決定セラレ、一月十五日第二  
段ノ措置ヲ執ルコトニ決定セララル

支那事變處理根本方針

帝國不動ノ國是ハ滿洲國及支那ト提携シテ東洋平和ノ樞軸ヲ形成シ之ヲ核心トシテ世界ノ平和ニ貢獻スルニアリ

右ノ國是ニ基キ今次ノ支那事變處理ニ關シテハ日支兩國間過去一切ノ相剋ヲ一掃シ兩國國交ヲ大乘的基礎ノ上ニ再建シ互ニ主權及領土ヲ尊重シツツ渾然融和ノ實ヲ舉クルヲ以テ窮極ノ目途トシ先ツ事變ノ再起防遏ニ必要ナル保障ヲ確立スルト共ニ左記諸項ヲ兩國間ニ確約ス

(一)日滿支三國ハ相互ノ好意ヲ破壞スルカ如キ政策、教育、交易、其他凡ニル手段ヲ全廢スルト共ニ右種ノ惡果ヲ招來スル虞アル行動ヲ禁絶スルコト

(二)日滿支三國ハ互ニ相共同シテ文化ヲ提携防共政策ノ實現ヲ期スルコト

(三)日滿支三國ハ産業經濟等ニ關シ長短相補有無相通ノ趣旨ニ基キ共同互惠ヲ約定スルコト

右ノ方針ニ基キ帝國ハ特ニ政戰兩略ノ緊密ナル運用ニ依リ左記各項ノ適切ナル實行ヲ期ス

(一)支那現中央政府ニシテ此際反省觀意シ誠意ヲ以テ和ヲ求ムルニ於テハ別紙(甲)日支媾和交渉條件ニ準據シテ交渉ス

帝國ハ將來支那側ノ媾和條項實行ヲ確認スルニ至ラハ右條件中ノ保障條項別紙(乙)ヲ解除スルノミナラス更ニ進ンテ支那ノ復興發展ニ衷心協力スルモノトス

(二)支那現中央政府カ和ヲ求メ來ラサル場合ニ於テハ帝國ハ爾後之ヲ相

手トスル事變解決ニ期待ヲ掛ケス新興支那政權ノ成立ヲ助長シコレ  
ト兩國々交ノ調整ヲ協定シ更生新支那ノ建設ニ協力ス支那現中央政  
府ニ對シテハ帝國ハ之カ潰滅ヲ圖リ又ハ新興中央政權ノ傘下ニ收容  
セラルル如ク施策ス

(三) 本事變ニ對處シ國際情勢ノ變轉ニ備ヘ前記方針ノ貫徹ヲ期スル爲國  
家總力就中國防カノ急速ナル培養整備ヲ促進シ第三國トノ友好關係  
ノ保持改善ヲ計ルモノトス

(四) 第三國ノ權益ハ之ヲ尊重シ專ラ自由競争ニヨリ對支經濟發展ニ優位  
ヲ獲得スルコトヲ期ス

(五) 國民ノ間ニ事變處理根本方針ノ趣旨ヲ徹底セシムル様國論ヲ指導ス  
對外啓發ニツキテモ亦同シ

別紙 甲

日支媾和交渉条件細目

- 一、支那ハ滿洲國ヲ正式承認スルコト
- 二、支那ハ排日及反滿政策ヲ放棄スルコト
- 三、北支及内蒙ニ非武装地帯ヲ設定スルコト
- 四、北支ハ支那主權ノ下ニ於テ日滿支三國ノ共存共榮ヲ實現スルニ適當ナル機構ヲ設定シ之ニ廣汎ナル權限ヲ賦與シ特ニ日滿支經濟合作ノ實ヲ舉クルコト
- 五、内蒙古ニハ防共自治政府ヲ設立スルコト其ノ國際的地位ハ現在ノ外蒙ニ同シ
- 六、支那ハ防共政策ヲ確立シ日滿兩國ノ同政策ニ協力スルコト
- 七、中支占據地帯ニ非武装地帯ヲ設定シ又大上海市區域ニ就テハ日支協力シテ之カ治安ノ維持及經濟發展ニ當ルコト
- 八、日滿支三國ハ資源ノ開發、關稅、交易、航空、交通、通信等ニ關シ所要ノ協定ヲ締結スルコト
- 九、支那ハ帝國ニ對シ所要ノ賠償ヲサヌコト

附記

- (一) 北支内蒙及中支ノ一定地域ニ保障ノ目的ヲ以テ必要ナル期間日本軍ノ駐屯ヲサヌコト
  - (二) 前諸項ニ關スル日支間ノ協定成立後休戰協定ヲ開始ス
- 支那政府カ前記各項ノ約定ヲ誠意ヲ以テ實行シ日支兩國提携共助ノ我方理想ニ眞ニ協力シ來ルニ於テハ帝國ハ單ニ右約定中ノ保障的條項ヲ

解消スルノミナラス進テ支那ノ復興及其ノ國家的發展、國民的要望ニ  
衷心協力スルノ用意アリ

別紙 乙

(一) 別紙甲中保障條項タルモノ左ノ如シ

一 第三項ノ非武装地帯

二 第四項ノ折衝ニ當リ保障ノ目的ヲ以テ設定セラレヘキ特殊權益及  
之カ爲存置ヲ必要トスル機關

三 第七項ノ非武装地帯

四 附記(一)及之ニ伴フ軍事施設、主要交通ノ管理擴充ニ關スル權益

(二) 媾和ニ關聯シテ廢棄スヘキ約定

一 梅津何應欽協定、塘沽停戰協定、土肥原秦德純協定、上海停戰協  
定

二 保障事項ノ解消ト同時ニ從來ヨリ有スル對支特殊權益(例ヘハ治  
22

外法權、租界、駐兵權等ノ如シ)ノ廢棄ヲ考慮ス

0035



四、北支政務指導要綱

85

0036

REEL No. A-0217

0042

アジア歴史資料センター

北支政務指導要綱

其一、方針

一、北支政務指導ノ要ハ作戰地後方地域（冀東ヲ含ム以下同シ）ニ於ケル各般ノ政務事項ヲ統合指導シ該地域ヲシテ日滿支提携共榮實現ノ基礎タラシムルニアリ

其二、要領

- 一、政務指導各般ノ處理ハ嚴ニ敵國占領ノ精神ヨリ脱却シ將來ノ長計ヲ考慮シ地方固有ノ社會組織並習俗ハ成ルヘク之ヲ存置善導スルコトニ努メ且軍隊對住民ノ關係ハ特ニ之ヲ圓滑ニ調整スルモノトス
- 二、作戰地後方地域ノ政治機關ハ住民ノ自主的發生ニ基クモノトシ其機

構運營亦住民ノ積極的參贊ニ據ル

冀東政權ハ特ニ其内部ヲ刷新合理化スルモノトス

三、前項地域ノ經濟開發ハ差當リ冀東地區ヲ主トシ冀東政權ヲ内面的ニ指導シテ之ヲ行フ

而シテ經濟開發實施ノ爲ニハ成ルヘク興中公司ヲシテ直接實行若ハ調整ニ當ラシムルモノトス

經濟開發ニ關スル具体的事項ハ別ニ連絡ス

四、現地ノ明朗化ヲ妨害スル不良分子（浮浪人排日及共產分子等）ハ何レノ國籍人タルヲ問ハス之カ徹底的整理ノ手段ヲ講シ速ニ之ヲ實施スルモノトス

之カ實施ハ軍内諸機關、外務官憲及支那側機關相互ノ協力ニ依ル  
五住民ノ爲文化的諸施設就中保健醫療施設ノ普及ニ關シ所要ノ措置ヲ  
講スルモノトス

0038



五、蒙 匪 處 理 要 綱

本要綱ニ於ケル北支軍トハ北支那方面軍及將來北支ニ駐屯セシメラルヘ  
キ軍ヲ總稱ス

察蒙處理要綱

第一、方針

一、察蒙處理ノ主眼ハ内蒙政權領域ノ燥急ナル擴大ヲ避ケ速ニ同政權ヲ充實強化シ親日滿防共自治ノ實力充備ヲ圖ルト共ニ同政權領域内ニ於テ蒙民族ノ安住繁榮ヲ計リ北支就中察南及山西處理トノ關係ヲ適正ニ調整スルニ在リ

二、將來ニ於ケル關東軍ト北支軍トノ察哈爾省方面政務指導ニ關スル境界ハ外長城線トシ綏東四旗中平綏線（之ヲ含ム）以南ノ地域ハ北支軍ニ屬スルモノト豫定ス

三、關東軍及北支軍ハ各々擔任スル政務指導並施策ニ關シ緊密ニ連繫シ

特ニ漢蒙兩民族ノ指導ニ關シ調和ヲ圖ルモノトス

第二、要領

一、差當リ關東軍ノ政務指導地域ハ察北、察南ノ範圍トシ必要ノ場合張家口以西平綏沿線ノ施策ヲ擔任シ將來察南ノ政務指導及平綏沿線地方ニ對スル施策ハ北支軍之ニ當リ關東軍ハ錫盟及察盟ノ大部（工作ノ進展後ハ烏盟ニ及フ範圍）ニ對スル工作ヲ實施ス

但綏東四旗ニ對スル積極的工作ハ内蒙政權實力ノ強化ト綏遠及山西ニ對スル大局的考慮ノ下ニ行フモノトス

二、内蒙工作ハ蒙古人心ノ把握ヲ以テ主眼トシ親日滿防共自治ヲ圖是トスル蒙古ノ建設ヲ指導シ對蘇特ニ對外蒙態勢ヲ調整スルヲ以テ積極

ノ目的トス之カ爲先ツ以テ前掲二盟ヲ範域トスル内蒙ノ内部強化ヲ  
主トス

右ノ進展ニ伴ヒ逐次烏盟ニ對シ工作ノ擴張ヲ計ル但之カ爲ノ施策ニ  
於テハ特ニ内蒙ヲ刺戟セサル様考慮ヲ拂フモノトス

三、上記内蒙ノ防衛並治安確保ノ爲日滿側ヨリ所要ノ經費、兵器、器材  
等ヲ支給シ之ヲ援助ス

内蒙軍ノ整備並ニ之カ所要ノ經費ニ關シテハ昭和十二年二月二十七  
日附陸滿密第七五號ノ要領ニ準據ス

四、察南ハ察北ノ内蒙政權ニ合併スルコトナク其政務指導ハ北支政務機  
導要綱ニ準據シ特ニ同地方漢族民衆ニ基礎ヲ置ク機關ヲシテ治安ノ

維持民心ノ安定經濟ノ開發等ニ當ラシム

五、綏遠（烏盟ヲ除ク）ニ對スル施策ハ北支軍ニ於テ内蒙工作並北支就  
中山西ノ處理ヲ考慮シ適宜之ヲ行フ

（終）

0041

六、蒙疆政務處理要綱

蒙疆政務處理要綱

蒙疆地方政務處理ニ關シテハ昭和十二年十二月二十四日閣議決定ノ事  
要對處要綱(甲)ニ據ルノ外差當リ左記要領ニ據ルモノトス

左記

- 一、蒙疆地方ノ政務指導ハ駐蒙兵團司令官之任シ關東軍司令官ノ同地方政權ニ對シテ得タル政務指導上ノ諸權限ヲ繼承スルモノトス
- 二、駐蒙兵團司令官ノ行フ蒙疆地方政務指導ハ差當リ關東軍司令官ノ實施セル方針ヲ踏襲スルモノトス
- 三、駐蒙兵團ノ政務指導ニ關スル擔任區域ハ察北、察南、晉北及綏遠省トシ其ノ關東軍及北支那方面軍トノ政務指導ニ關スル擔任區域ノ境

50

界ハ察哈爾省東部省境ヲ經テ八達嶺以南以西ノ內長城ヲ連ヌル線(綽源縣及其附近河北省内ハ北支那方面軍ニ屬ス)トス

四、蒙疆地方ノ政務指導ニ方リテハ特ニ漢蒙兩民族指導ニ關スル完全ナル調和ヲ圖ルト共ニ北支那方面軍及關東軍ノ行フ政務指導ト密ニ連絡シ相互ノ摩擦相尅ヲ生セシメサル爲萬遺憾ナキヲ期スルモノトス

0043



七、蒙疆政務指導要綱

蒙疆ノ政務指導ハ當分ノ間左記要領ニ基キ北支那方面軍司令官駐蒙軍司令官ヲ通ジテ之ヲ實施スルモノトス

左記

- 一、蒙疆ノ政務指導ニ方リテハ該地域ニ廣汎ナル自治ヲ認メ且其特殊性ヲ保續ス
- 二、蒙疆ノ行政機構、行政區域ハ現状ノ儘トス
- 三、蒙疆ノ金融ハ蒙疆銀行ヲシテ之ニ當ラシメ將來全支ニ互ル金融ノ根本的改革ヲ行フニ方リテモ右蒙疆地方金融組織ノ特殊性ヲ十分ニ考慮ス

四、蒙疆ノ經濟開發（交通通信等ヲ含ム）ハ北支ト一元的ニ實施ス但シ之ヲ實施ニ方リテハ蒙疆ノ特殊事情ヲ十分考慮ス

五、北支那方面軍司令官ノ蒙疆ニ對スル政務指導ハ前記各項ニ依ルノ外重要ナル事項ハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケテ之ヲ行ヒ尙滿洲國ト關係ヲ有スル事項ハ關東軍司令官ト密接ニ連繫ス

0045

八、北支及中支政權關係調整要領  
昭和一三三二四  
閣議決定

第一方 針

中支新政權ハ一地方政權トシテ之ヲ成立セシメ中華民國臨時政府ヲ中  
央政府トシテ成ルヘク速カニ之ニ合併統一セシム

第二要 領

一、中支新政權ハ其成立宣言ニ所要ノ修正（北支及中支兩政權當事者ノ  
協議セルモノニ據ル）ヲ行ヒ之ヲ成立セシム

二、中支新政權ハ成ルヘク速カニ之ヲ中華民國臨時政府ニ合併統一セシ  
ム

是カ爲中支新政權機構組織ハ前項ノ合併統一ニ支障ヲ來ササル様具  
現セシメ又中支ニ於ケル海關、統稅局、鹽務局（共ニ主要人事ヲ含  
ム）

ム）等ニ對スル措置ハ合併前ニ於テモ地方的情勢ヲ考慮ノ上中華民  
國臨時政府ノ統制ノ下ニ之ヲ行ハシム

三、兩政權合併ノ爲速カニ双方ノ支那側代表ヲ集メ協議會ヲ開カシム

四、軍事、外交、財政、金融、經濟、交通、通信、郵務、文化及思想對  
策等ニ關シテハ北支、中支間ニ矛盾ヲカラシムル様指導ス

北支及中支政權關係調整要領ニ關スル諒解事項

一、第一方針中ニ所謂中華民國臨時政府ヲ中央政府トストノ趣旨ハ支那ニ於ケル各地政權指導上ノ原則トシテ規定セルモノニシテ帝國カ之ヲ支那ノ中央政府トシテ承認スル問題ニ關シテハ別個ノ考慮ニ依リ決定スヘキモノトス

二、第二要領ノ二前段北支臨時政府ニ合併統一ノ場合ニ於ケル首都ノ選定ハ專ラ支那側ノ考慮ニ委スルモノトス

三、中支ノ通貨及金融ニ付テハ北支ト統一的ニ處置スヘキコトヲ根本方針トスルモノ之ヲ直チニ實行スルコトハ中支金融ノ複雜性ニ顧ミ今後充分ニ實情ヲ見究メタル上適當ノ時期ニ於テ行フモノトス

從ツテ例ヘハ中國聯合準備銀行券ヲ中支ニ流通セシムヘキヤ或ハ先以中支ニ於ケル通貨ヲ整理シ然ル後北支及中支ノ通貨政策ノ調整ヲ圖ルヤ等ノ問題ハ今後充分考究ノ上之ヲ決定スルモノトス

九、蒙疆聯合委員會設定ニ際シ蒙疆聯合委  
委會ト關東軍司令官トノ秘密交換公文

滿文正文(日文譯文)

中華民國二十六年十一月二十二日蒙疆方面各政權ハ相互協議ノ上蒙  
成吉思汗紀七百三十二  
疆聯合委員會設定ニ關スル協定ヲ締結セルニ據リ本聯合委員會ハ受ニ  
各政權ノ同意ヲ得テ左ノ諸件ノ確約ニ付得貴意度照會候也

一、今次事變ニ於ケル貴帝國出師ノ根本義ニ鑑ミ蒙疆地方ニ於ケル本  
委員會ノ處理スヘキ一切ノ命令及執行ニ關シテハ貴軍占據ニ伴フ  
軍事ノ要請ニ應セシムヘク就テハ貴軍竝日滿兩國ヨリ充分ナル協  
力ヲ仰キ度特ニ貴軍司令官ノ内面的指導ニ關シテハ深甚ナル配慮  
ヲ仰キ度キコト

54

二、本委員會ノ最高顧問參議顧問及委員會職員中主タルモノハ貴軍司令  
官ノ推薦スル日滿兩國ノ者ヲ充當致度コト三政權内日滿系顧問職員  
ニ就テモ右ニ準スヘキコト

三、本委員會ノ管理若ハ統制スヘキ重要交通及重要産業ニ關シテハ必要  
ニ應シ貴軍司令官ノ指定スル日滿各機關ニ經營ヲ委任シ若ハ合辦事  
業ヲ營マシムルコトアルヘク此場合特ニ便宜ヲ與ヘラレタキコト

四、本委員會管下ノ金融事項ニ關シテハ蒙疆銀行ヲシテ中央銀行タラシ  
ムルヲ根本方針トスルニ付之ニ關聯シテ將來生スヘキ諸事項ニ關シ  
御援助ヲ願ヒ度キコト

五、本委員會ハ當分貴帝國軍ノ駐兵ヲ希望シ之カ爲其管理又ハ經營スル

0047

事業ニ關シ財政上ノ餘力ヲ生スルニ至レハ貴帝國軍駐兵ニ伴フ經費  
ニ關シ現金又ハ物納ノ形式ヲ以テ努メテ之ヲ分擔スルコト  
六將來正式條約協定等締結セラルルニ際シテモ蒙疆地方ニ關スル前記  
各條項ハ本聯合委員會構成ノ政權ニ關スル限り實質上何等ノ變更ナ  
キ如ク調整スルコト

中華民國二十六年十一月二十二日  
成吉思汗紀七百三十二年十一月二十二日

蒙 疆 聯 合 委 員 會

右諸條ニ關シ下名ハ夫々其政權ノ正當ノ委任ヲ承ケテ連署ス

- 蒙古聯盟自治政府代表委員 卓 圖 巴 札 布
- 察南自治政府代表委員 干 品 卿
- 晋北自治政府代表委員 夏 恭

關東軍司令官 植 田 謙 吉 閣 下



日本文正文

中華民國二十六年十一月二十二日即成吉思汗紀元七百三十二年十一月二十二日附貴聯合委員會カ夫々各政權ノ正當ナル委任ヲ承ケタル代表委員ノ連署セル書翰ヲ以テ照會ニ係ル諸件了承候  
當方ノ支障ナキ限リニ於テ協力スルコトト致度  
以テ回答得貴意候也

昭和十二年十一月二十五日

關東軍司令官 植田謙吉

蒙疆聯合委員會

36

蒙古聯盟自治政府代表委員 卓圖巴札布 殿  
察南自治政府代表委員 干品 卿 殿  
晋北自治政府代表委員 夏 恭 殿

0049